

[． 早期の危機突破に向けた 3 つの最重点計画]

3 つの最重点計画について、これまでの取り組みをさらに前進させてまいります。

1 ． 災害に強く安全・安心な原子力発電所の構築

東京電力グループのみならず、関係する協力会社・メーカーのみなさまの協力を得ながら、総力をあげて、災害に強く、立地地域とのゆるぎない信頼関係を持った安全・安心な原子力発電所を構築します。

(1) 災害に強い原子力発電所の構築

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所の復旧に向け、設備の点検・評価、耐震強化工事など一つひとつを慎重かつ着実に実施していきます。その際、安全最優先の意識の浸透とルール遵守の再徹底により、災害の未然防止に努めます。
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所の各プラントの「点検・評価計画書」に基づき、プラントの健全性を徹底的に確認・評価するとともに、被災した設備の復旧工事を着実に実施していきます。
- ・ 必要な耐震強化工事は「基準地震動」に基づく耐震安全性の評価を踏まえ、国の委員会等の審議・確認を得ながら、確実に実施していきます。
- ・ 先行する復旧・耐震強化工事等で得た知見を柏崎刈羽原子力発電所内だけでなく福島第一・第二原子力発電所の各プラントにも活かし、一層安全・安心な原子力発電所の構築に取り組みます。

(2) 立地地域とのゆるぎない信頼関係の構築

- ・ 立地地域や社会のみなさまの声に真摯に耳を傾けるとともに、引き続き点検や復旧作業、耐震強化工事等の状況に関する情報公開を徹底するなど「地域とともに考え、歩む」を基本に、立地地域のみなさまとのゆるぎない信頼関係を構築していきます。

2 ． 安定供給確保対策の着実な実施

平成21年度夏期の最大電力（発電端 1 日最大）は、通常の暑さとなった場合、6,100万kWを見込んでいます。供給面では、柏崎刈羽原子力発電所を織り込んでおりませんが、川崎 1 号系列の運転開始などにより6,420万kW程度の供給力を確保する計画としています。

今後も引き続き、追加的な供給力（発電所の増出力運転、自家発の余剰購入、試運転電力の活用等）について継続検討、精査し、安定供給の確保に努めるとともに、必要に応じて、お客さまに節電のご協力等をお願いしてまいります。

<平成21年度夏期の需給見通し>

(万kW)

	8月
最大電力 (発電端1日最大)	6,100
供給力(発電端)	6,420
予備力(発電端)	320

*供給力は他社受電を含む

3. 危機突破を確実にするための徹底した費用削減

3年連続の赤字を回避するのみならず、危機突破を確実なものとするために十分な利益水準の確保をめざします。このために、東京電力グループが一体となり、平成20年度の1,000億円を超える費用削減に加え、平成21年度はさらに500億円規模での削減を確実に実行します。